

(112)

会長

佐藤秀行



「誰が見ていなくても、お天道様が見ているよ」

幼いころから、父によく言われていた言葉です。父も祖母に何度も聞かされた言葉だそうです。勉強や仕事等をしているときに、「これぐらいやらなくてもいいか」、「この程度で良しとしよう」等、とかく弱い自分が顔を出し妥協をしてしまいがちです。そんな時に思い出す言葉です。期待した成果も、素晴らしい仕事も、自分の力を全て出し切れたかが成否を分ける気がしています。

これからの教育は子どもたちが自ら考え、仲間と協力しながらどのように目的を達成するかを指導するようになります。一人ひとりの能力が出し切れた時に納得できる成果が出ると信じています。

保護者、教職員が協力しながら、子どもたちと一緒に新しい時代に向けて歩いていきたいと思います。

